

「三島硫黄島学園の硫黄島九月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	三島村立三島硫黄島学園
2. 学年・人数	後期課程 7年～9年 女子6人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年10月18日～29日 硫黄島開発センター</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年10月30日・31日 九月踊り 熊野神社前</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 硫黄島九月踊り（いおうじまくがつおどり）</p> <p>(2) 由来 毎年旧暦の9月10日、11日に行われ、島の女性たちによって継承されてきた。流行していた疫痢や疱瘡（伝染病）から人々を守るために始まったとされている。俊寛が教えたとの説もある。</p> <p>(3) 構成等 「花の大阪」、「祭文弊（せいもんべい）」、「思い立ち」、「疱瘡踊り」の4つの踊りがある。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>島内出身の婦人会が担ってきた硫黄島九月踊りであるが、しおかぜ留学生にも踊りの機会を与えている。中学生とはいえ、踊りの精度を上げるためには体力を消耗する。1週間ほどの練習の最中には、婦人会の方々だけでなく、保存会の皆さんの指導と声かけに励まされ、力強さを増していき、立派な「島の婦人」へと成長する。伝統的な衣装の着付け・髪結いは島の婦人会の方がしてくださった。</p>
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 花の大阪 祭文弊 思い立ち </div>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 九月踊りを踊れる人が少なくなっており、島に伝わる大切な踊りを、守っていきたい。踊ったり、他の踊りを見たりとても楽しかった。踊ることが2回目になると、歌の歌詞の意味を理解しながら踊りを覚えていくことができた。 ・ 九月踊りに参加することになり、練習が始まるまではとても不安だったが、島の方々細かくアドバイスをくださりとても嬉しかった。様々な方に助けられながら行事をやりきったことで、島の一員としての自覚が芽生えた一週間だった。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここでしかできない貴重な経験を通して、娘にとって素晴らしい体験となった。着物姿の娘を見ることができ、とても嬉しかった。